

各学年の夢中になって遊びこむ姿

3 歳児	4 歳児	5 歳児
<ul style="list-style-type: none"> ・園生活の中で教師や友達と関わり、楽しさを感じ、安心感をもって遊ぶ。 ・興味や関心をもったことを繰り返し遊ぶ。 ・イメージしたもののつもりになったり、見立てたりする。 ・周囲の環境、教師や友達のしていることなど、様々なものや出来事に興味をもって関わったり、まねたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や園生活で経験したことを再現したり、イメージを広げたりして遊ぶ。 ・思い通りにならない時や自分の思いとは違う時に、他の方法でやってみようと繰り返す。 ・自分なりのアイデアを言葉や動きで表現しながら、イメージや目的をもって遊ぶ。 ・友達の言葉や動きに気付いたり、自分の遊びに取り入れたりしながら、主体的に関わり、自ら心を動かして遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経験したことや知っていることなどを遊びに取り入れたり、予測したりしながら、好奇心や探求心をもって遊ぶ。 ・自分の目的を実現しようとする中で、自ら調べたり、考えたり、試したりして、最後までやり遂げようとする。 ・本物らしさやかっこよさなど、自分なりのこだわりをもって、なりきろうとしたり、必要な物を作ったりし、それを友達と共有しながら遊びを進める。 ・友達と共通の目的に向けて工夫したり折り合いをつけたりしながら、協力して遊びを進める。

※ 幼児自身もつ「学びに向かう力」は、夢中になって遊びこむことで発揮されると考え、発達に応じ、その姿を捉えた。